



ST-300はフラット型デュアルマイクを使用するステレオ音声のコンクリートマイクです。

製品概要

フラットデュアルマイクと**アンプユニット**を付属**マイクケーブル**で接続し、**アンプユニット**に接続した付属**ステレオイヤホン**でマイクが拾った音を聞きます。

アンプユニットは付属**ネックストラップ**で首から下げ、片手で**フラットデュアルマイク**を壁面に押し当て、もう一方の手で**アンプユニット**のボリュームを操作します。

ネックストラップは先端部と首にかけるストラップが分離できます。**アンプユニット**をテーブルなどに置いて使う場合、先端部両脇を押して分離すれば、いちいちネックストラップを首から外す必要はありません。

操作手順

- ① **フラットデュアルマイク**と**アンプユニット**を**マイクケーブル**で接続
- ② **ステレオイヤホン**を**ステレオイヤホン出力**にセット
- ③ **電源/右ボリューム**を**電源オフ位置**から外し電源を入れ、時計回りに回して、最初は3程度にする
- ④ **左ボリューム**を回して、左右のレベルを合わせながら、聞きやすい音量まで上げる

録音する場合

録音用出力(ステレオミニジャック)と録音用機器を市販の録音ケーブル(接続ケーブルと呼称する場合)で接続します。録音機器のマイク入力に合わせて端子形状を選ぶ必要があります。

録音機器のマイク入力がミニジャックなら両端ステレオミニプラグ(φ3.5mm)付きケーブルです。

録音機器のマイク入力がミニミニジャックなら片側がミニミニプラグ付きのものを使うかミニミニ変換プラグを使用し、片側をミニプラグに変えて使います。

録音機器がモノラルの場合、ステレオプラグを差し込んで録音しても支障はありません。

録音用出力は基本的にICレコーダを想定した録音レベルになっています。

壁面のいろいろ

壁の中間に間隙があったり、断熱材が入っていると、その部分で音の振動が減衰してしまい良く聞こえません。柱部分や後ろに梁や支柱が入っている部分が狙い目です。壁の表面に布などが貼ってあるのもマイナスです。できればコンクリートがむき出しになっている部分が望ましいです。

ステレオの効果が生かせるのは聴取対象に面した壁や床です。人の移動がある程度分かったり、モノラルに比べて情報量が多く臨場感のある音が得られます。

ステレオ効果は期待できませんが、距離的には遠くなくても浴室などが適するケースもあります。配管系や鉄骨部分も試してみる価値があります。

壁に接触する振動板に直接触れないように、**フラットデュアルマイク**の中央連結部を持って壁面に軽く押しつけます。

市販品の使用など

付属**ステレオイヤホン**の代わりに、ミニプラグのついた市販のステレオイヤホン、ステレオヘッドホンも使用できます。

付属品のような音漏れの少ないインナーイヤ型イヤホン、耳をすっぽり覆ってしまう密閉型ヘッドホンが適します。音が漏れるオープンイヤ型だと、ボリュームを大きくした場合、ハウリングが起きます。

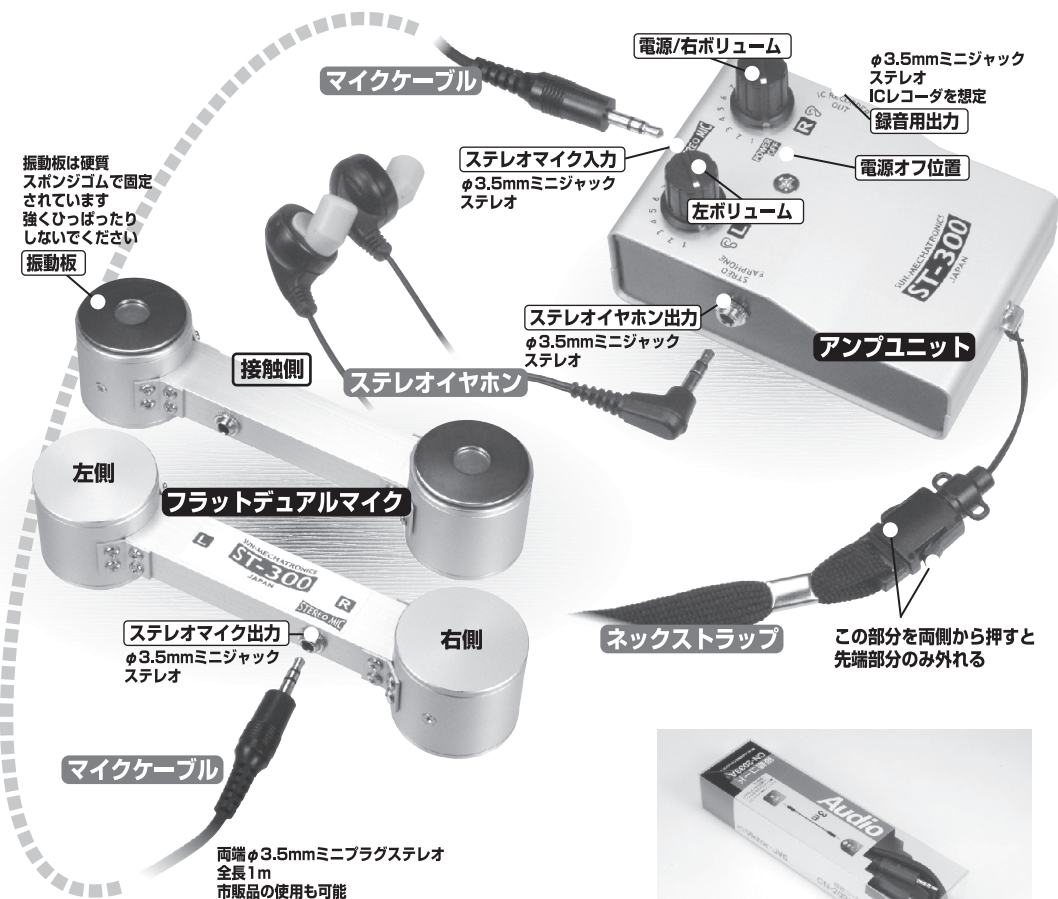
フラットデュアルマイク～**アンプユニット**間を離す必要がある場合、市販の「両端ステレオミニプラグ付きケーブル」が流用できます(写真1参照)。市販品は3m程度までです。極端に長いものは機能に悪影響を及ぼすかもしれません(3mまでは支障ないことを確認済み)。

電池の交換

電池寿命はアルカリ9V電池を使った場合で約18時間です(レベル3で連続使用時)。

電池の交換は底パネルの**つまみねじ**をコインなどを使って左に回してフタを外します。電池スナップごと取り出して、新しい電池と交換します。

長期間使わない場合は、電池を外し、液漏れによる故障を防いでください。つまみねじは極端に強く締めないで下さい。パネルがしっかり固定されればじゅうぶんです。



ST-300のスペック	
●外寸	フラットデュアルマイク:144×34×31mm・アンプユニット:86(91)×58(62)×28(45)mm・マイクケーブル1m
●重量	フラットデュアルマイク:81g・アンプユニット:172g(アルカリ9V電池含む)・マイクケーブル:18g・ステレオイヤホン:13g・ネックストラップ:7g
●電源	電池寿命/9V電池(アルカリ電池を推奨)・18時間(レベル3で連続使用時)
●製品構成	フラットデュアルマイク・アンプユニット・テスト用9V電池・マイクケーブル・ステレオイヤホン・ネックストラップ



写真1: 両端にステレオミニプラグのついた市販品

接続コードの名称が付いていることが多い写真はビクターのCN-2033(全長3m)フラットデュアルマイクとアンプユニットの接続のほか録音コードとして使うこともできる